

ふくし

習志野

平成29年

7/1

No.150

もくじ

- 平成28年度事業報告及び決算報告 P 2
- 社協支部活動紹介 …………… P 4
- ボランティア特集…………… P 6

祝!創刊150号



日本の宝 みんなで子育て



5月14日(日)に総合福祉センターで「第16回『国際助産師の日』のつどい」が行なわれました。未来のパパ・ママ、子どもから高齢者まで200名余りが来場し、講演や育児体験などの催しを通して「命」についての学びを深めました。笑顔あふれる1日となりました。

- 企画総務課・地域福祉課 ☎452-4161
- ボランティア・市民活動センター ☎451-7899
- ボランティア情報 24時間テレホンサービス ☎452-3999
- 在宅福祉課 ☎453-3838
- 老人福祉センター さくらの家 ☎451-3566
- 地域福祉センター いずみの家 ☎452-4161

HP <http://www.nashakyo.jp/>

習志野市社協

検索



E-mail info@nashakyo.jp

編集発行 社会福祉法人 習志野市社会福祉協議会広報委員会
〒275-0025 習志野市秋津 3-4-1 総合福祉センター内
電話 047(452)4161(代) FAX 047(451)8211

事業報告 及び 決算報告

事業報告

社会福祉協議会（以下 社協）の役割として、「地域住民の個々のニーズに応え個々の生活を支え、地域の福祉問題の解決を図る」ことを役員一同再確認し、基本理念の一つである「協働」を主眼に置いて、地域福祉の推進を図ってきました。

また、『第5次習志野市地域福祉活動計画（平成27年度～31年度）』及び、『第3次習志野市社会福祉協議会発展強化計画（平成27年度～31年度）』の2年目を迎え、評価及び見直しを行ないました。

具体的な活動例

1. 社協を理解してもらうことに重点を置いた会員・会費の周知徹底

地域住民と接する機会のある講座やイベント等で、社協を理解していただき、社協活動に参加をしていただけるような働きかけを行ないました。

会員募集については、市内のまちづくり会議等に参加させていただき、社協活動の説明を行ない、会費を納めていただくことを重点にご協力をお願いを行ないました。

2. 介護予防・日常生活支援総合事業の研究及び関係機関との連携

平成29年度に介護保険制度が大幅に改正されることにより、「介護予防・日常生活支援総合事業」（以下 総合事業）の実施にあたり、6月と11月に、日常生活に援助が必要な在宅高齢者のサポートをするためのボランティアの養成講座として、「シニアサポーター養成講座」を実施しました。

また、総合事業に関連して、平成28年度から平成29年度をモデル期間として、地域住民が住み慣れた地域で孤立せず、いつまでも安心して生活していける地域づくりにつなげていくことを目的に「地域サロン事業」（※）を立ち上げました。

3. 常設ボランティア活動の拡大

昨年度より開始した、共同募金のPRグッズ等を作成する「工作ボランティア」を習志野市の事業である『高齢者ふれあい元気事業』において体験していただきました。これをきっかけとして、これまで、秋津（いずみの家）のみで行なっていた「工作ボランティア」が、東習志野、屋敷の2会場でも行なわれることになりました。

4. 大規模災害に備える取り組みの推進

災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練を実施し、225名の参加がありました。訓練は、災害ボランティアセンター（以下 災害VC）のレイアウト及び動線を確認・検証を行ない、本番を想定した時間設定で、災害VCの流れを体験しました。また、ボランティアや関係団体と協力して、災害VCの運営を図ることを目的として実施しました。講演では、「災害に備えて、私たちにできること」というテーマで、自分が住む地域で防災の意識を持ち、地域でやらなければならないことを決めておくことなど、講師から貴重なお話をいただきました。

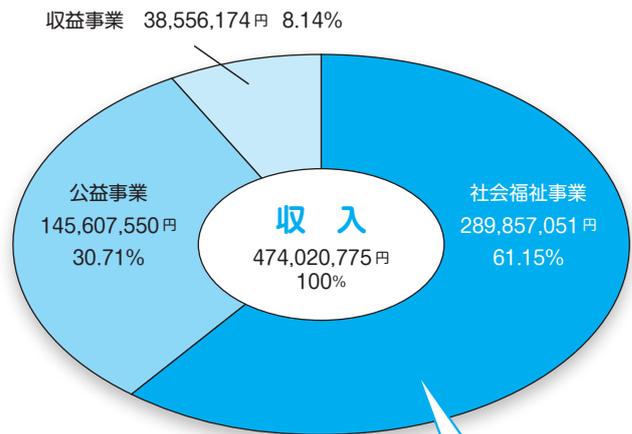
5. 指定管理者として地域住民に親しみ愛される施設運営

これまで、利用者からの要望や相談には、必要に応じて対応してきましたが、生の利用者の声を施設運営に取り入れ、より良い施設運営を行なうため、指定管理者の指定を受けて以来初めて、第三者の視点から客観的に評価をする「福祉サービス第三者評価」（さくらの家・いずみの家施設運営に関する第三者評価）を受けました。その結果は、概ね良好との評価をいただきました。

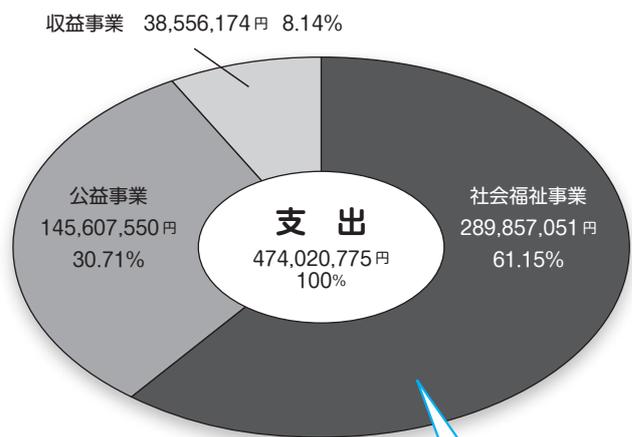
※「地域サロン事業」とは？

地域住民同士の交流や仲間づくりなどを行なっている集まりに対し助成を行ない、安心して生活していける地域づくりにつなげていく事業。

収支決算内訳



①自主財源	
会費（※使途については、P3参照）・寄付金	
事業収入・貸付事業等・その他	25,580,144円
②公費財源	
補助金・助成金・受託金	153,471,537円
③共同募金配分金	16,999,471円
④法人内部取引	50,972,406円
⑤前年度繰越金	42,833,493円



①人件費	74,699,487円
②事務費	9,905,756円
③事業費	3,019,089円
④地域・団体支援事業	24,379,058円
⑤生活支援事業	13,458,738円
⑥子育て支援事業	310,671円
⑦さくらの家・いずみの家運営事業	64,355,668円
⑧共同募金配分金事業	18,499,471円
⑨法人内部取引	26,852,170円
⑩施設整備等支出	1,014,716円
⑪財務支出	8,106,976円
⑫その他	6,731,725円
⑬次年度繰越金	38,523,526円

平成28年度の一般会費・特別会費16,978,523円の使いみち



皆さまからの会費は、住民同士のささえあいによる地域福祉活動推進のために、大切に使用させていただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

社協支部活動

13,350,063円

地域福祉の推進役として、各地域に支部を設置しています。谷津・津田沼・鷺沼・鷺沼台・藤崎・大久保・屋敷・実碓・東習志野・花咲・袖ヶ浦・香澄・秋津・津田沼北部・本大久保・谷津西部の全16支部の、地域福祉活動をきめ細やかに行なうための支部事務所の運営費として使用させていただきました。併せて、年1回実施する支部役員研修会にも使用させていただきました。

また、ご協力いただいた会費の10%をお住まいの地域の各支部に還元し、各支部の特色を活かした地域福祉活動に使用させていただきました。

支部活動の一例



**住民参加型
家事援助等サービス**

向こう三軒両隣 困ったときのささえあい



ふれあい・いきいきサロン

おしゃべり、囲碁、健康体操…
お茶を飲み、ホッと一息。
お気軽にどうぞ♪



子育てサロン

親子で遊びにきてね♪



社協支部事務所

生活の困りごとをご相談ください。

広報啓発活動

1,895,659円

広報紙「ふくし習志野」を年4回発行していますが、そのうち4月1日号及び臨時号の発行費用として使用させていただきました。「ふくし習志野」では、本会の事業や地域で行なわれる様々な活動を紹介しています。



その他の福祉

472,301円

地域福祉の推進に貢献された団体や個人を顕彰する「福祉功労者顕彰式」及び、戦没者を追悼する「戦没者をしのぶ遺族の集い」実施のための諸経費として使用させていただきました。

社協運営費

1,260,500円

さまざまな地域福祉活動を推進するための運営諸経費として使用させていただきました。また、職員の専門性の向上のための研修費や書籍等の購入に使用させていただきました。



ご協力ありがとうございました (敬称略)

平成29年3月に納めていただいた方々

一般会費 秋津団地中央自治会 津田沼6丁目第1町会

特別会費 佐藤錦也 京葉警備保障 芝勝寿司 杉栄建材 大太平洋機工 東栄鋼材 日鉄住金溶接工業 広瀬商店

赤い羽根共同募金 津田沼6丁目第1町会 藤崎2丁目第3町会

歳末たすけあい募金 津田沼6丁目第1町会

平成29年4月1日から平成30年2月末日までに一般会費・特別会費・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力を頂いた方々のお名前は、平成30年4月1日号の臨時号に掲載します。



ご寄付ありがとうございました (敬称略)

平成29年2月1日～平成29年4月30日

金銭寄付 飯生ヒサ子 小野浩一郎 金子富士子 久保田米子 後藤文子 蓼沼李枝子 長谷川誠一 望月次郎 一般社団法人千葉県馬主会 株式会社ベルクフォルテ津田沼店 国際ソロプチミスト船橋 さくらの家編み物サークル ゼブラ株式会社 和みの会 習志野市サークル連絡協議会 習志野市社会福祉協議会本大久保支部 習志野商工会議所女性会 パッチワーク桜花 東習志野コミュニティセンター運営委員会 ボートピア習志野(株式会社テックエステート)

<お詫び>

平成29年4月1日発行『ふくし習志野149号臨時号』において、赤い羽根共同募金にご協力いただいた町会の記載漏れがございました。関係者の方々にはご迷惑をおかけいたしましたことを伏してお詫び申し上げます。

赤い羽根共同募金 大久保住宅新棟自治会



社協支部 活動紹介

津田沼支部

場 所 サンロード津田沼6階
問合せ 津田沼支部 ☎451-8835
(開所日時 毎週月・火・水曜日 午前10時～午後4時)

津田沼支部は、発足当初は津田沼地区全体で活動していましたが、JR総武線を境とし、平成9年4月より津田沼支部と津田沼北部支部に分かれました。

現在の主な活動は、月1回の「ふれあいサロン津田沼」の開催です。毎回、15人から20人前後の人が集まりラジオ体操で体をほぐし、お茶を飲みながら話に花を咲かせたり、三味線の演奏に合わせて歌を歌ったりします。季節の行事として7月には思い思いの短冊を作り、笹に飾りつける七夕会を行います。

12月には参加者にクリスマスプレゼントの贈呈をするなど、1年を通して工夫を凝らして運営しています。



「ひとり暮らし老人食事サービス(配食)」は年8回、実施していません。利用者の誕生日には

谷津西部支部

場 所 谷津5丁目町会集会所内
問合せ 谷津西部支部 ☎476-2313
(開所日時 毎週月・水曜日 午前10時～午後4時)

谷津西部支部では、高齢者や障がいを持つ人も共に助け合っで生きるまちをつくりたいと願い、毎年、福祉勉強会を開催しています。この活動は10年以上続いており、『認知症の方への対応』『障がい者への理解と支援』『健康長寿の願い』など多岐にわたるテーマで繰り返し勉強会を実施し、当事者を講師に招き、話や体験などを学び、「地域で助け合いのできるまちづくり」を目指す内容の濃いものです。



去る6月11日(日)、認知症の人やその家族の方を地域で支えていくための活動を推進するため、連合町会・まちづくり会議と共催で、「認知症の人や家族を地域が支えよう」をテーマに勉強会を実施しました。当日は約40名の

社協支部では、ふれあい・いきいきサロンなど、誰もが気軽に交流できるような事業を行ない、地域福祉を推進しています。

お祝いで、お花を差し上げています。『お弁当はできるだけ手作りを提供したい。』との思いから、スタッフ一同、工夫を凝らして頑張っています。津田沼支部の特徴は、食事サービスがお休みの8月に配食を担当している民生委員が日用品等を持参し、安否確認を兼ねて訪問していることです。



その他にバス研修では、芝園清掃工場で習志野市のゴミ処理の実態を、東邦大学薬草園では危険な植物等について学びました。

さらに緊急事態・災害に対応するべく、救命講習に16名が参加してAEDの操作法を学び、習志野市総合防災訓練では町会長による安否確認・報告訓練と非常食の試食・簡易トイレの組み立て・防災バーナーの点火訓練等に参加しました。

津田沼支部は今後も地域住民の福祉向上に貢献すべく、活動していきます。

参加者が集まり、認知症当事者としてケアのあり方を訴えてきたクリスティーン・ブライデンさんの講演DVDの上映や、認知症サポーターの体験談などの話を伺い、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていました。

高齢化の進展とともに認知症を発症する人も年々増加しており、勉強会参加者の方からは、正しい認知症の知識を身につけ、『認知症の方やその家族の方に、さりげなく自然で優しいサポートができるよう努力したい』との感想が多くありました。

支部では地域にある高齢者福祉事業所とも連携し、認知症患者の見守り体制の確立を目指したネットワークづくりも進めており、認知症サポーターは地域に300名以上います。現在は認知症患者の心のうちに入り、気持ちを理解してもらうことを重点に活動を行っており、勉強会を通じて正しい認知症の知識を身につけ、地域で生活している認知症の人や家族に力を貸してほしいとの話を伺うことが出来ました。

また、谷津西部支部では、地域の活動として「ふれあい・いきいきサロン」や「てんとうむし体操」「介護者のオアシス」の実施、連合町会と共催で行われる「秋祭り」や「餅つき大会」などの活動も行なっています。

津田沼北部支部の事務所が移転しました。

【変更年月日】 平成29年4月21日
【旧事務所】 津田沼1丁目町会館
【新事務所】 津田沼3丁目第3町会館(習志野市津田沼3-17-20)

開所時間 毎週月・金曜日 午前10時～午後4時
問 合 せ ☎474-5537





ふくっぴーファミリーサロン

ふくっぴーファミリーサロンは、親子が自由に遊んだり、おしゃべりしたりする交流スペースです。年齢・月齢の違う親子が集まっているので、『離乳食は?』『どんなベビーグッズが良いのかしら?』など、先輩ママからの話も聞くことができ、情報交換の場になっています。

利用について

対象	概ね3歳未満の子どもと保護者・妊婦・高齢者
開いている日	月・水・金曜日
開いている時間	4月～10月 午前10時～午後4時 11月～3月 午前10時～午後3時 正午～午後1時の間はサロン内で昼食をとることができます。 お弁当持参でお越しください。
休みの日	祝日・お盆・年末年始 ※台風、雪などの天候不良でお休みする場合があります。
参加費	1家族 1日100円(出入りは自由です) ※見学のみは、お断りしています。



ふくっぴーファミリーサロンでは、季節ごとにイベントを開催しています。

5月 こどもの日フェスタ こいのぼりや兜飾りで、端午の節句を祝います 	6月 プレママのやすらぎルーム 産まれてくる赤ちゃんの為にベビーグッズを手縫いで制作 	7月 たなばたフェスタ 短冊に願いを込めて 	10月 赤ちゃん・子どもの救命講習会 もしもの時に備えて
12月 クリスマスフェスタ サンタクロースがやってきます! 	2月 節分フェスタ みんなで鬼退治!! 	3月 ひなまつりフェスタ 桃の節句を唄や踊りで祝います 	その他、不定期で「ママのやすらぎルーム」を開催。 メイク体験など、子育て中のママ達が安らげるイベントを企画しています

メルマガを配信しています。

★その他のイベントの開催などの情報を、配信を希望された方のアドレスに一斉メール配信をしています。

登録方法

1 メールを送る

下のメールアドレスに「タイトル」「本文」を入れずにメールを送る



※迷惑メール防止用に指定のアドレスしか受信できないように設定(ドメイン設定)されている方は、「@nashakyo.jp」からのメールを受信できるように設定を解除してください。

2 登録完了メールが届く

登録完了だよ!

ボランティアを募集しています。

ふくっぴーファミリーサロンは地域のボランティアの皆さまのご協力のもと運営しています。

おじいちゃん、おばあちゃん世代から小・中学生など、いろいろな方が手伝いに来てくださり、世代を超えた交流の場にもなっています。

お手伝いくださる方は、ボランティア・市民活動センターまでご連絡ください。

【所在地】習志野市袖ヶ浦5-1 袖ヶ浦運動公園東かど

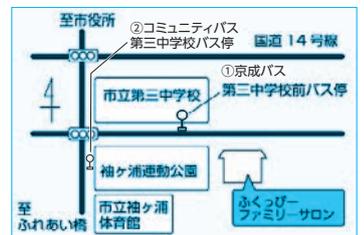
【アクセス】

①京成バスの場合

JR津田沼駅から『袖ヶ浦団地行』(京成津田沼駅経由)に乗り『第三中学校』で降ります。バス停から歩いて3分です。

②コミュニティバスの場合

京成津田沼駅から海浜ルートに乗り『第三中学校』で降ります。バス停から歩いて4分です。



夏ボラを体験しよう！

夏休みにボランティアすることを、「夏ボラ」と呼んでいます。

夏ボラを体験するには？

①さがす

ボランティア活動をさがす

※活動先の詳細は、『ボランティア・市民活動センターだより「風車(かざぐるま) No.79』をご覧ください

(ボランティア・市民活動センターのホームページからも見ることができます)

②もうしこむ

自分のやりたいボランティアが見つかったら、電話をして「夏ボラ説明会」に申込み

事前申込必須 ☎451-7899

先着50名だから早めに申し込んでね！

7月3日(月)～7月10日(月)まで



③ていしゅつする

申込書を提出

7/13(木)までに 希望の活動・日時を記入して提出する

※申込書は、ボランティア・市民活動センターのホームページからダウンロード！

※期日までに提出がない場合は、説明会に参加することができません

④さんかする

夏ボラ説明会に参加

ボランティアについての説明をします

事前に提出していただいた希望をもとに、決まった活動先をお知らせします

人数調整などで、ご希望に添えない場合もあります。あらかじめご了承ください

※説明会当日には必ず「夏休みボランティア参加同意書」に、保護者の署名・捺印をして持参してください



⑤たいけんする

ボランティアに行く

施設等で実際にボランティア活動を体験します

夏ボラ説明会

夏休みにボランティアを体験するには、「夏ボラ説明会」への参加が必要です。

参加
必須

【日 時】 7月21日(金)

午前9時30分～11時30分

【場 所】 総合福祉センター2階

いずみの家「研修室」

【内 容】 ボランティアについての説明・登録

【対 象】 市内在住・在学の小学生以上

【持ち物】 はさみ、筆記用具

【定 員】 50名(先着順)

定員になり次第締切

【申込み期間】(電話で申込み)

7月3日(月)～7月10日(月)

【申込書提出期限】(FAXか郵送)

7月3日(月)～7月13日(木) 必着

【申込み・問合せ】

ボランティア・市民活動センター

※説明会当日、小学3年生までは保護者の同伴が必要です。

会場の都合上、保護者の同伴は小学3年生までに限らせていただきます。

送迎などでお越しになる場合は、ロビーでお待ちください。

ボランティア体験教室&講座

参加者募集中

じぶんの町を良くするしくみ『赤い羽根共同募金』について学びませんか？

『赤い羽根共同募金ってどんな募金なの？』『募金がどのように役立っているの？』といった豆知識や、ボランティア活動の紹介を交えながら行ないます。

はじめてのボランティア講座 ～赤い羽根共同募金編～

日 時	主な内容
① 9月5日(火)	午前10時 ボランティアや 赤い羽根共同募金について 午後 PRグッズの作成 ふりかえり ほか
② 9月12日(火)	
③ 10月17日(火)	

会 場 総合福祉センター2階 いずみの家「研修室」

対 象 ボランティア活動や地域福祉に関心のある方
原則、上記3日間の講座に出席できる方

定 員 20名(先着順)

申込み 9月4日(月)までに

※全日程参加された方に「ボランティア活動修了証」を発行します。



赤い羽根を挟んだしおり、赤い羽根共同募金のリーフレットを手作りします。

夏休みボランティア体験教室 ～赤い羽根共同募金編～

日 時 8月8日(火)

午後1時30分～3時30分

場 所 総合福祉センター2階

いずみの家 研修室

内 容 じぶんの町を良くするしくみ『赤い羽根共同募金』について学び、募金活動のPRグッズを工作する活動体験

対 象 市内在住の小学生以上

※小学3年生までは、保護者の同伴が必要です

定 員 20名(先着順)

定員になり次第締切

持ち物 はさみ、筆記用具

申込み 8月7日(月)までに

※参加者全員に「ボランティア体験修了証」を発行します。



【申込み・問合せ】 ボランティア・市民活動センター

第10回 Suzuki Garphyttan Award 日鉄住金 SG ワイヤ地域社会貢献賞 受賞

おめでとうございます！マリオネット どんぐり 様

マリオネット どんぐり（会員9人）は、習志野市教育委員会主催の婦人ボランティア講座「マリオネット活動育成コース」の受講者により昭和50年4月に結成されました。手作りのマリオネット人形劇の制作や練習を重ね、ボランティアとして、年平均20回以上、子どもから高齢者までを対象に人形劇の公演を40年間以上続けています。

これまでの長年の活動が認められ、今年受賞の運びとなり、5月8日に東習志野の日鉄住金SGワイヤ株式会社で表彰式が開催されました。表彰式では、会の活動紹介などが行なわれました。

代表 佐久間久子さんよりひとこと

大好きな人形劇を市内の幼児施設や障がい者施設で上演、たくさんの歓声と笑顔に接しています。今回の受賞、さらにうれしい限りです。きっと、気軽に公演依頼をしていただけることでしょう。

これを機に、子ども好きな仲間を増やして、マリオネット（操り人形）を作る面白さ、人形劇を演じる楽しみをたくさんの人達にも味わっていただきましょう。



「マリオネット どんぐり」の主な活動

- ・月2回定例会（第1・第3木曜日）
- ・保育所や幼稚園、障がい者施設等での公演
- ・人形劇活動による交通安全教育
- ・市内外での各種イベントへの参加など



活動の問合せは、佐久間 電話047-454-1047まで



夫に
先立たれ
1人で
さびしい...

住み慣れた
自分の家に
長く
住みたい...



年金だけだと
この先の
生活が
不安...

重い家具を
動かしたい、
電球を交換したい
けど、1人じゃ
無理だわ...

習志野市高齢独居者と若手介護福祉スタッフが 一緒に暮らす新しいライフスタイル!

福祉の現場を走り回る中で「やむを得ず施設に入る高齢者」や、「若手介護福祉スタッフが育たない」現状を目の当たりにし、地域のために何か自分にできる事はないかと考えていく中で、戸建てに1人でお住まいの高齢者と若手人材が、お互いにより良い生活ができるように新しいライフスタイルの形を構想しました。習志野を愛し、住み慣れた自分の家で、なるべく長く、安心して暮らしたいと願っている方で、ご興味がある方には詳しい説明をさせていただきますのでお気軽にご連絡ください。

私をご説明に参ります!



小澤 まで

お問合せ先

TEL.0120-079-315

介護用品レンタル・販売 モナーケア
千葉市花見川区長作町708 代表 小澤 まで



**福祉サービス利用援助事業をサポートする
生活支援員養成講座** 参加者
募集

高齢の方や障がいのある方が、福祉サービスを利用するための手続きや日常的な金銭管理を代行して、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにお手伝いする生活支援員の養成講座を実施します。

先輩生活支援員の実体験を聞きながら、生活支援員の活動を学びます。

月1回、2時間程度の活動から始めてみませんか。

【日時】 7月24日(月)

午前10時30分～午後3時30分

【会場】 総合福祉センター2階 いずみの家「研修室」

【対象者】

- ①市内在住で、20歳以上から概ね70歳未満の方
- ②ボランティア活動や福祉に関心を持ち、生活支援員として社協と協力して取り組める方
- ③現任の民生委員児童委員、訪問介護員ではない方
- ④平日、月1回～、2時間程度の活動が可能な方

【定員】 20名程度

【内容】 福祉サービス利用援助事業について生活支援員の役割や援助方法について

【持ち物】 筆記用具、昼食

【申込み・問合せ】 7月4日(火)～ 地域福祉課

**向こう三軒両隣 困ったときの ささえあい
「住民参加型家事援助等サービス事業」の
協力員大募集！！**

社協各支部では、向こう三軒両隣 困ったときの ささえあいの精神で家事などの住民のお困りごとを住民同士のつながりで解決を図る「住民参加型家事援助等サービス事業」を実施しています。

この「住民参加型家事援助等サービス事業」の協力員を男性・女性問わず募集しています。

【募集支部】

谷津、鷲沼台、大久保、実籾、香澄、秋津、袖ヶ浦の各地区の社協支部

※上記募集支部以外の地域で協力したいという方も併せて募集をしております。お気軽にお問合せください。

【内容】 専門的な技術や資格を要しない家事などの支援

【活動時間】 1回の訪問につき1～2時間程度

【申込み・問合せ】 地域福祉課

「これすい」へのご来場ありがとうございました

6月11日(日)に開催した「第29回 これが吹奏楽だ！」の収益金は、習志野市の地域福祉のために寄付させていただきました。 福祉イベント実行委員会

**ゆるキャラグランプリ
2017**

**ふくっぴーへの投票
よろしくお願いたします。**



昨年は残念ながら、1161位(393ポイント)でした。今年ポイントアップしたいなあ♡

投票期間

8月1日(火)午前10時～11月10日(金)午後6時

<http://www.yurugp.jp/>

(ゆるキャラ@グランプリオフィシャルウェブサイト)



PC・タブレット・スマートフォンからの投票



ふくっぴー★クイズ★



Q 問題だよ！

「ふくし習志野」は今号で創刊何号を迎えたのでしょうか？

- ① 100号
- ② 150号
- ③ 200号

答え・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を書いてハガキ、FAX、Eメールのいずれかで7月31日(月)(消印有効)までに応募してね。

正解者のうち抽選で5名様に、『ふくっぴー特製ボールペン』をプレゼント！正解及び当選者は「ふくし習志野」10月1日号で発表するよ。

【前号の正解と当選者】(敬称略)

《正解》②習志野文化ホール

《当選者》高岡トヨ子 千葉正恵



編集すんで、夜が明けて...

7月になりました。「夏休みは海外でゆっくり過ごそう」などと、この時期は夏休みの計画を立てられている方も多いのではないでしょうか。ここ数年、海外では無差別テロが頻発しています。いつ巻き込まれてもおかしくない状況の中で、渡航先の治安状況の情報収集など、いざという時の備えが必要です。(K)